

「土砂災害の予知・軽減新技術に関するアジア・太平洋シンポジウム」の案内

国際砂防シンポジウム実行委員会

1. 目的

東アジアは、環太平洋地域の造山活動に伴う地形・地質条件とアジアモンスーン気候によって特徴づけられています。近年、気候変動のみならず、地殻変動がこの地域に対して大きなインパクトを与えており、地震、火山活動、そして台風に伴う豪雨に起因する大規模な土砂災害の増加が顕著です。このような大規模な自然災害を予知、軽減することは、地元住民のみならず、その土地の行政官や研究者にとっても喫緊の課題と言えます。しかし、一方で、従来の考え方に基づいて設計された警戒システムや対策施設では、大規模化する土砂災害に対応しきれない恐れがあります。今こそ、このように大規模化する土砂災害を防止・軽減するための戦略を積極的に考えるべき時機です。同じ地形・地質条件や気候条件を共有するアジア・環太平洋地域からの参加者が、それぞれに抱えている問題や研究・開発した新技術を持ち寄り、土砂災害、洪水災害の予知・軽減のための新しい戦略へと結びつけるために討議すべきと考えます。以上の観点から、(社)砂防学会は、土砂災害の予知・軽減新技術に関するアジア・環太平洋シンポジウムを下記により開催いたします。

なお、本シンポジウムは、技術士 CPD (継続教育) 履修実績として申請することができます (本件のお問い合わせ先: 学会事務局 Tel: 03 3222 0747)。

2. 日時

平成 21 年 (2009 年) 11 月 18 日(水) ~ 19 日(木)

3. 開催地

東京都千代田区 砂防会館別館
(〒102 0093 東京都千代田区平河町 2 7 4 Tel: 03 3261 8386)

4. 使用言語

英語 (同時通訳はございません。)

5. 発表申込

次の①から⑥を英語でご用意いただき、平成 21 年 4 月 30 日までに、email にて下記の申込先までご送付ください。

- ①発表題目、②発表者と共同発表者の所属と氏名、
③連絡先 email アドレス、④発表形式 (口頭 / ポス

ター)、⑤キーワード (5 つまで)、⑥アブストラクト (500 words 以内、MS Word または PDF ファイル、1 ページ以内に収まるのであれば、図表も含めて構わない。フォーマットは自由)

なお、編集委員会によって選ばれたものについては、さらに論文の提出を求め、査読を行うと共に、砂防学会誌、または砂防学会誌英文誌への掲載を予定しています。

申込先

Email: apsymdisaster@for.agr.hokudai.ac.jp

〒060 8589 札幌市北区北 9 条西 9 丁目
北海道大学大学院農学研究院
丸谷知己

Tel: 011 706 2513 (直通)、

Fax: 011 706 4935

6. 今後の予定

平成 21 年 4 月 30 日 発表申込締切
平成 21 年 5 月 31 日 発表の採択通知
平成 21 年 7 月 31 日 論文の提出期限
平成 21 年 8 月 15 日 口頭発表者の通知
平成 21 年 10 月 15 日 参加登録締め切り

7. 国際砂防シンポジウム実行委員会

委員長 水山高久 (京都大学大学院農学研究科)
副委員長: 池谷 浩 (財)砂防・地すべり技術センタ
ー)

副委員長: 鈴木雅一 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

幹事長: 丸谷知己 (北海道大学大学院農学研究院)

編集長: 藤田正治 (京都大学防災研究所)

委員: 原 義文 (国土交通省河川局砂防部)

委員: 岡本正男 (社)全国治水砂防協会)

8. 国際砂防シンポジウムに関するお問い合わせ先

〒060 8589 札幌市北区北 9 条西 9 丁目
北海道大学大学院農学研究院
丸谷知己

Email: apsymdisaster@for.agr.hokudai.ac.jp

Tel: 011 706 2513 (直通)、Fax: 011 706 4935